
仮面ライダーW インフィニティ編

スプラッシュサタン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーW インフィニティ編

【Nコード】

N66620

【作者名】

スプラッシュサタン

【あらすじ】

この話は最終回後の話です。

注意！この作品は、僕ブルーバードが作ったものではありません。
友人のスプラッシュサタンが作った作品です。

第一話 「現れたGノメモリ大戦始動

注意！ この小説は、僕ブルーバードが考えた物ではありません。

友人のスプラッシュサタン（仮）が考えた作品です。

ある所。

「ついにDのメモリが完成した。我らが四つのメモリを見つけてから長かった。」

「おいR、Tは誰の部下に置くんのだ？」

「心配するな。独立させよう・・・。」

「アニマル！」

風都タワーの下でそれが鳴ると同時に、アニマルメモリを押しした元人間から毒蛇が大量に現れた。

アニマルドーパントは体から動物を出現させることができるドーパントだ。

悲鳴の中、二人の青年はWドライバーを装着した……。

「サイクロン！」

「ジョーカー！」

二人の青年は一人の仮面ライダーWに変身した。

「さあ、お前の罪を数えろ！」

「あんたがWか？なら死ね！」

「うるせえ。」

Wは、毒蛇を撃ち殺すため、ルナ・トリガーになった。

しかし、アニマルドールパントは笑っている。

毒蛇がWドライバーに這い寄り、ルナメモリとトリガーメモリを砕いたからだ。

バキイイイ！

「ぐああーっ！」

Wは苦しみの中、

「サイクロン！」

「ジョーカー！」

サイクロンジョーカーになった。

「こづなったら・・・」

Wはエクストリームメモリを発動させようとした。

しかし・・・

「しってるぜ！お前はその鳥を使って強くなるんだろ？だったらそれを封じれば勝ち目はねえわけだ！」

アニマルドーパントは、無数の鳥を出現させ、エクストリームメモリに襲いかかった。

エクストリームメモリは大量の鳥に抑えられ、動けそうもない。

その時！

「アクセル！」

仮面ライダーアクセルが現れ、

「エレクトリック！」

エンジンブレードのエレクトリックを発動し鳥を蹴散らした。

「いまだ左！」

「おお！」

「エクストリーム！」

仮面ライダーWは、サイクロンジョーカーエクストリームになった。

そして、ビツカーシールドに四本のメモリを差した。

「サイクロン！マキシマムドライブ！」

「ヒート！マキシマムドライブ！」

「ジョーカー！マキシマムドライブ！」

「メタル！マキシマムドライブ！」

「ビツカーグローイングファイナルイリリュージョン！」

攻撃をまともに受けたアニマルドーパントはメモリブレイクされた。

しかし、アニマルドーパントは最後に体からライオンをだし、メタルメモリをかみ砕いた！

最後にアニマルドーパントは叫んだ。

「ギャラクシーを敵に回すとはな……。運のないヤツラだ……。」

「

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6662o/>

仮面ライダーW インフィニティ 編

2011年1月9日01時50分発行